

# 新宿区「学校部活動の地域連携・地域展開に関する推進計画(令和8年度～10年度)」

## 1 現状

令和元年度：会計年度任用職員の部活動指導員を配置。(～現在)

令和5年度：民間提案制度により部活動指導業務委託が採用された。公募型プロポーザルを実施し、委託事業者を決定。

過去3年間の配置実績(会計年度・委託・ゆる部活含む)：R5年度33部活、R6年度65部活、R7年度69部活

## 2 課題

### ・部活動地域展開

学校部活動から地域クラブ活動への展開につき、運営団体の選択や活動場所の調整等

### ・部活動地域連携 拠点化

学校単位から地域単位としたときの区立中学校10校のグループ分け、拠点校の「部活動種目」の選択、活動場所の調整や連携校間の連絡調整、生徒・保護者への連絡体制等

### ・部活動地域連携 外部人材の活用

区立中学校全体で約110部活のところ部活動指導員については、令和7年度69部活(小学校：16部活、中学校：52部活、ゆる部活1部活)に配置、残りの部活動への外部人材の確保

## 3 取組の方向

・R8年度から10年度に「東京モデル」に着手・試行に向けた、新宿区の実情にあった部活動の実施方法の検討

・生徒の活動機会の確保・充実の観点から、学校の実情に応じた取り組みを行うための、各校からの意見聴取

・具体的な取組内容やスケジュール等について、各校及びスポーツ関係部署等と意見交換

# 新宿区「学校部活動の地域連携・地域展開に関する推進計画(令和8年度～10年度)」

## 4 改革実行期間(前期)における新宿区の取組

	令和8年度	令和9年度	令和10年度 (令和11年度～13年度の計画を策定)
<b>東京モデルA</b> 「地域展開」  地域の団体を運営団体・実施主体とする	地域クラブ活動のモデル事業実施に向けた調査・検討	関係団体との協議内容や新宿区の実情を踏まえ、新たな活動機会を得られる仕組みを検討・決定	モデル事業の実施、課題・効果を検証
<b>東京モデルB</b> 「地域連携：拠点化」  複数の学校で連携	国及び都の動向を注視し、他区の状況を調査・実施方法の検討	部員数が少なく、学校での運営が困難な状況にある一部の部活動において、学校の意向を踏まえ、モデル的に拠点化を検討・協議・決定	2～3校で連携し〇〇部をモデル的に拠点化して実施
<b>東京モデルC</b> 「地域連携：外部人材の活用」  部活動指導員・外部指導者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動指導員(会計年度)</li> <li>部活動指導員(委託)</li> <li>外部指導者(スクールスタッフ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動指導員(会計年度)</li> <li>部活動指導員(委託)の拡充</li> <li>外部指導者(スクールスタッフ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動指導員(会計年度)</li> <li>部活動指導員(委託)の拡充</li> <li>外部指導者(スクールスタッフ)</li> </ul>